

国や県の研究開発事業を利用しましょう 本格的に技術開発をしませんか？

国（経済産業省）の戦略的技術高度化支援事業

（通称サポイン:サポーターングインダストリー）をご紹介します。

この事業では、経費の全額を補助金として受けること（正確には委託費）ができて、3年間で最大で1億円近くの支援を受けることができます。また、「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」の認定を受けて進める事業化支援事業ですので、販売支援の事業とも連動することができ、大変有利な事業です。

例年、3月から4月に募集され、6月から7月前後に採択になります。今年、ものづくり事業枠の一部が組み込まれたこともあり募集件数が大幅に増加しています。全国では、977件の応募で、308件採択されています。東北では、61件の応募で、20件が採択になりました。当センターでは、6件提出した中で2件の採択となりました。

サポイン事業は、自社の得意技術を分野ごとの川下企業のニーズにどう生かすかが評価のポイントです。エンドユーザーと直接のユーザーの要望に、皆さんの会社の技術をどう生かすか整理することで、事業化を成功させるかを検討して応募することが大切です。

基盤となる技術で、不足するところは、工業技術センターや農業研究センターなどの公設試験研究機関（公設試）からの支援を受ける準備も必要となります。また、より基礎的な支援は、大学の協力も得なければなりません。公設試・大学どちらも、来年度の計画に組み込んでもらうために、早めの相談が必要です。

来年度の国の事業がはっきりするのは年末以降になる予定ですが、今年度の景気対策の補正が組まれる状況から推測すると、

来年も同程度の募集が想定されますので、利用を検討される方はぜひ、ご相談ください。

なお、国の事業に応募するにあたり、「データの収集が不足している」「基礎的な理論との整合性を検討してみたい」とお考えの方は、岩手県の科学・ものづくり振興課が募集する「いわて戦略研究開発支援事業」で、2年間じっくりと取り組んでみる方法もあります。

一般枠（補助金…初年度800万円、2年目が600万円）が2件、ソフトウェアものづくり融合枠（補助金…初年度、2年目ともに400万円）が1件の計3件です。競争率は3倍ほどが見込まれます。こちらでも来年度の規模や時期は不明ですが、今年、4月12日に公募が開始され締切が5月14日でした。既に、この事業を踏まえて、サポインに進んだ開発事業が3件あり、サポインの実施中にも展示会での相談が得られる状況となっています。

写真は、長年の研究の流れのなかで、現在サポイン事業を活用して開発を進めている株式会社東亜電化様の展示会（平成22年9月8日～9日の日産様向け商談会）での様子です。



●お問い合わせ 人材・研究開発支援グループ 新事業技術開発チーム TEL 019-631-3825

コバルト合金 事業・担当者紹介



事業総括
藤枝 賢之助

事業総責任者として事業運営・推進の指揮をとります。



科学技術コーディネーター
（医療系担当）
小野 高義

主にコバルト合金の医療分野での展開を推進します。



科学技術コーディネーター
（一般産業系担当）
鈴木 淳一

主にコバルト合金の一般産業分野での展開を推進します。



アシスタント
コーディネーター
青木 英樹

県の補助事業である「コバルト合金新産業クラスター形成促進事業」の推進と文科省事業の推進を業務します。

この8月2日付けで、平成19年度から当センターが中核機関として実施してまいりました都市エリア産学官連携促進事業（発展型）の後継事業として、文部科学省の地域イノベーションクラスタープログラム（グローバル型）に「いわて発」のコバルト合金のプロジェクトが採択されました。本事業では、「いわて発」高付加価値コバルト合金を創製し、医療機器用及び一般産業用実用化基盤を構築したこれまでの取組みの成果を活用し、製品化や材料の規格化へ向けた研究開発、生体用材料としてニーズの高い欧米市場展開へ向けた研究開発及び販路拡大の取組を推進し、既に当地域で企業化した合金材製造事業を核とした国際競争力のあるイノベーションクラスターの形成を図ってまいります。

この事業を補完する目的で、4月より岩手県の補助事業である「コバルト合金新産業クラスター形成促進事業」も推進してまいりましたが、この文科省の事業の採択を受けまして、いわてのコバルト合金プロジェクトの本格始動となります。

事業総括をはじめ、本事業を推進してまいります新メンバーを御紹介します。どうぞ、よろしくお願い致します。